

令和5年度 指定管理者モニタリング票

所管課名	文化スポーツ観光交流部 文化振興課
電話番号	0835(25)2551
所管課名	教育委員会教育部 生涯学習課
電話番号	0835(23)3015

1 施設の概要

施設名称	(1) 防府市公会堂 (2) 防府市地域交流センター（アスピラート） (3) 防府市青少年科学館（ソラール） (4) 防府市視聴覚ライブラリー ※（1）及び（2）は文化振興課、（3）及び（4）は生涯学習課が所管課となる。
設置目的	(1) 防府市公会堂 市民の福祉を増進し、生活文化の向上に資すると共に広く集会の場として使用に供するため、防府市公会堂を設置する。 (2) 防府市地域交流センター 人の交流による駅前の賑わいの創出と、本市の芸術文化の興隆に資するため、防府市地域交流センターを設置する。 (3) 防府市青少年科学館 市民の科学及び科学技術に関する知識の普及及び啓発を図るとともに、創造性豊かな青少年を育成するため、防府市青少年科学館を設置する。 (4) 防府市視聴覚ライブラリー 学校教育及び社会教育における視聴覚教育の振興を図るため、防府市視聴覚ライブラリーを設置する。

2 指定管理者の概要

指定管理者	名称	公益財団法人 防府市文化振興財団
	代表者	会長 上野 清
	所在地	防府市緑町一丁目9番1号
指定期間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日（5年間）	
選定方法	非公募	
(非公募の理由)	防府市文化振興財団の設立目的と施設の設置目的・機能が一致しており、効率的かつ効果的な施設運営ができるため。（指定手続条例第5条1項4号）	
利用料金制の有無	有	

3 指定管理業務の運営状況

業務内容 (具体的に)	(1) 防府市公会堂 ① 防府市公会堂（以下「公会堂」という。）の設置目的の達成に資する事業の実施に関する業務 ② 公会堂の使用許可に関する業務 ③ 公会堂の使用に係る料金に関する業務 ④ 公会堂の施設の維持管理に関する業務 ⑤ その他指定管理者が公会堂の管理上必要と認める業務 (2) 防府市地域交流センター（アスピラート） ① 防府市地域交流センター（以下「交流センター」という。）の設置目的の達成に資する事業の実施に関する業務 ② 交流センターの使用許可に関する業務 ③ 交流センターの使用に係る料金に関する業務 ④ 交流センターの施設の維持管理に関する業務 ⑤ その他指定管理者が交流センターの管理上必要と認める業務 (3) 防府市青少年科学館（ソラール） ① 科学及び科学技術に関する資料及び装置を展示する業務 ② 科学に関する図書、資料等を収集し、保管及び提供する業務 ③ 科学に関する講演会、講座、実習等を開催する業務 ④ 科学及び科学技術に関する資料及び装置の調査研究並びに他の機関との連絡調整を行う業務 ⑤ その他、防府市青少年科学館（以下「科学館」という。）の目的を達成するために必要な事業を行う業務 ⑥ 科学館の利用に係る料金に関する業務 ⑦ 科学館の施設等の維持管理に関する業務 ⑧ その他指定管理者が科学館の管理上必要と認める業務 (4) 防府市視聴覚ライブラリー ① 学校、社会教育施設等に対する視聴覚機材及び教材の貸与に関する業務 ② 視聴覚機材及び教材に関する解説資料等の作成並びに配布に関する業務 ③ 視聴覚機材及び教材に関する指導並びに研修に関する業務 ④ 映写会、展示会等の開催に関する業務 ⑤ 視聴覚教材の製作に関する業務 ⑥ その他、視聴覚教育に関する機関、団体等との連絡、協力に関する業務 ⑦ 防府市視聴覚ライブラリー（以下「視聴覚ライブラリー」という。）の使用許可に関する業務 ⑧ 視聴覚ライブラリーの機材等の維持管理に関する業務 ⑨ その他指定管理者が視聴覚ライブラリーの管理上必要と認める業務					
組織体制	(1) 防府市公会堂 館長 1人 副館長 1人 係員 6人 (2) 防府市地域交流センター（アスピラート） 館長 1人 副館長 1人 係員 13人 (3) 防府市青少年科学館（ソラール） 館長 1人 副館長 1人 係員 9人 (4) 防府市視聴覚ライブラリー 館長（科学館館長兼務） 係長（科学館副館長兼務） 係員 1人 合計35人					
労務環境	労働基準法等を遵守し、適正に労務管理が行われている。					
利用状況	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
①公会堂施設利用率（単位：％）						
	目 標 値	36	36	36	－	－
	実 績 値	34	29	33	－	－
	分 析	新型コロナウイルス感染症が5類感染症となったことにより、目標値には届かなかったが、利用率は回復しつつあり、前年度に比べ利用率は4％、利用人数は約9,100人増加した。				
②地域交流センター利用者数（単位：人）						
	目 標 値	107,000	107,000	117,000	－	－
	実 績 値	58,429	74,098	75,796	－	－
	分 析	新型コロナウイルス感染症が5類感染症となったことにより、目標値には届かなかったが、利用者数は回復しつつあり、前年度に比べ約1,700人増加した。利用率も徐々に回復している。				

③青少年科学館利用者数（単位：人）

目 標 値	60,000	60,000	60,000	—	—
実 績 値	29,752	32,530	48,201	—	—
分 析	新型コロナウイルス感染症が5類感染症となったことにより、利用者数は回復しつつあるが、目標値には届かなかった。しかし、開館25周年記念として実施した食品サンプル展は、内容の多彩さが好評で、幅広い世代の来館者があった。今後も、幅広い世代で楽しめる企画展を工夫するとともに、常設展示についても計画的に充実させることで、リピーターを増やすことが必要である。				

④視聴覚ライブラリー機材教材貸出日数（単位：日）

目 標 値	—	—	—	—	—
実 績 値	789	850	333	—	—
分 析	液晶プロジェクター等の視聴覚機材の普及に伴い、年々機材の貸し出し数が減少している。また、教材の貸し出しについては、学校でのタブレット端末が一人1台配付されたことや、各種オンデマンド放送の普及により利用が激減している。今後は、地域教材の制作・保存や、既存資料のデジタル化など視聴覚ライブラリーならではの取組を充実していく必要がある。				

4
指定管理者の業務に係る収支状況

①指定管理業務に係る収支						
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
指 定 管 理 料		300,083,461	309,566,875	302,602,787	—	—
利 用 料 金		31,595,320	38,935,170	41,004,430	—	—
そ の 他		33,237,115	29,385,393	47,211,895	—	—
収入計(a)		364,915,896	377,887,438	390,819,112	—	—
人 件 費		126,486,705	140,608,826	143,785,119	—	—
光 熱 水 費		37,946,359	49,566,465	43,415,234	—	—
修 繕 費		5,251,715	4,551,519	5,615,836	—	—
そ の 他		200,950,785	180,823,489	192,112,376	—	—
支出計(b)		370,635,564	375,550,299	384,928,565	—	—
収支(a-b)		-5,719,668	2,337,139	5,890,547	—	—
分 析	新型コロナウイルスの感染症上の位置づけが5類に移行したことから、施設の利用については回復傾向にあり、利用料金収入は増加した。支出については、経費節減に努めたが、最低賃金の上昇及び一般職員の採用により人件費が増加した。光熱水費については、政府の補助政策の影響や各施設が節電に努めたことにより、大幅に減少した。					

②自主事業に係る収支						
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
収入計(c)		3,305,260	8,337,511	0	—	—
支出計(d)		4,543,193	12,376,403	0	—	—
収支(c-d)		-1,237,933	-4,038,892	0	—	—
主な内容	なし					

5 利用者満足度

調査概要	実施方法	アンケートボックスを設置。施設利用者には利用時にアンケートを配布。
	時期	令和5年4月1日～令和6年3月31日
	回収率	・公会堂（回答数：17件/40件中 回答率43%） ・地域交流センター（回答数：45件/92件中 回答率49%） ・青少年科学館（回答数：439件）
	満足度の割合	<主な結果> ・公会堂 ○利用料金：安い12%、相当82% ○施設の使いやすさ：使いやすい59% ○職員の対応：良い100% ・地域交流センター ○利用料金：安い20%、相当80% ○施設の使いやすさ：使いやすい80% ○職員の対応：良い94% ・青少年科学館 ○企画・特別展の感想：満足97.7% ○職員の対応：満足92.5%
	対応状況	お客様からのご意見・ご要望は、職員間で共有するようにした。また、積極的に改善に取り組んでいる。

6 評価

指定管理者による自己評価	新型コロナウイルスの感染症上の位置づけが5類に移行したことにより、施設の利用については回復傾向にある。利用者アンケートにおいて、利用者の満足度は高い水準を維持しており、対応・接遇等適切であったと考えている。各施設ともに利用者の視点に立った適正な管理運営を行うとともに、防府市における文化活動の一層の活性化を図り、市民のニーズに応える多様な事業を展開したと自己評価する。また、個人情報の管理や危機管理についても適切であった。 交流センター及び科学館は、建物・設備共に老朽化が進んでいるが、危険箇所の把握に努め、不具合箇所は速やかに小修繕を実施するなど、安全で快適な環境維持に努めた。大規模な修繕や機器の更新については、防府市と情報を共有しながら、今後お客様の安全と安心を第一に、適切な管理・運営に取り組みたい。
市の評価	施設の利用状況については、新型コロナウイルス感染症上の位置づけが5類に移行したことにより、年間利用者数は、増加している。収支状況においても同様の理由による収入の増加要因となり、単年度の収支はプラスとなっている。令和6年度も、各種指針に基づき適正に事業展開されることを期待する。 施設管理に関しては、利用者アンケート結果からも分かるように利便性の向上、親切的な窓口対応に努め、適切に維持管理されていることを評価する。 労働環境については、労働関係法令を遵守しており、従事者が働きやすい環境作りに積極的に取り組んでいることを評価する。